

# お申込みからご受講までの流れ



## 1 お申込み

『在職者訓練受講申込書』に必要事項をご記入の上、当校あて FAX にてお申込みください。なお『在職者訓練受講申込書』は本冊子裏表紙をコピーするか、当校ホームページよりダウンロードしてください。(ホームページはパソコン版のみです。モバイルサイトからのダウンロードはできません。)

## 2 ご回答

受講可否につきましては、『在職者訓練受講申込書』にご記入いただきました連絡先へ FAX にてご回答をお送りします。

### キャンセル待ちについて

「キャンセル待ち」となった方には定員に空きが出次第、電話または FAX 等にてご連絡をいたします。開始日までに連絡がない場合は、定員に空きが出なかったものとしてご了承ください。

## 3 受講案内の送付 開始日3週間前

コース開始日の原則21日前までに郵送いたします。(開始日の10日前までにお手元に届かない場合は、お手数ですが当校までご連絡ください。)受講案内には、**受講票、請求書、受講料払込用紙(郵便振替用紙)**等が同封されています。

※受講者を変更したい場合、同一の企業・団体内での申込みであれば、変更が可能です。この場合は、必ず電話連絡の上、本冊子裏表紙『在職者訓練受講申込書』に変更前後の情報を再度ご記入の上、FAX でご連絡ください。

### キャンセルについて

必ず**開始日の14日前(土日祝日を含む)までに** FAX でコース番号、コース名、ご氏名、ご連絡先をご明記の上、ご連絡ください。**14日を過ぎたキャンセルにつきましては、受講料を全額ご負担いただきますが、**後日コースで使用したテキストは送付いたします。

### コースの中止について

定員に対し、コース開始日原則**14日前までに著しく受講者が少ない場合、コースを中止する場合があります。**中止の際はこちらから電話または FAX 等にてご連絡をいたします。

## 4 ご入金 開始日2週間前

受講案内に同封されております、受講料払込用紙(郵便振替用紙)にて原則、**開始日14日前(土日祝日を含む)まで**にご入金をお願いします。受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

**コースをキャンセルされる場合は必ず14日前まで**にご連絡をお願いいたします(左記「キャンセルについて」参照)。  
※現金でのお支払いは受付けておりません。

## 5 セミナー当日

在職者訓練コースガイドに明記されている持ち物をお持ちになり、お越しください。玄関ホールの案内板等にてコースの開催場所をご覧の上、会場をご確認ください。会場はコース開始時間の30分前から開いております。

なお、講師は原則、当校の指導員となりますが、一部外部講師が担当いたします。詳細につきましてはお問い合わせください。

### アンケートのご協力について

全てのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査の回答をお願いしております。なお一部のコースにつきましては、後日、コース内容の活用状況についても同様にお願いしております。ご協力のほど、お願いします。

### 注意事項

下記の方の受講申込をお断りすることがございます。

- ・頻繁にキャンセルされる方
- ・キャンセルのご連絡をいただけない方
- ・受講に際し、受講態度に何らかの問題があった個人、事業所等

## お 申 込 先

港湾短大神戸校(港湾職業能力開発短期大学校神戸校) 〒650-0045 神戸市中央区港島 8-11-4

**FAX 078-303-7335**

(個人情報をお送りいただくので、送信先相違のないようご注意ください。)

ホームページ:

# 会場ご案内

## 港湾短大神戸校

(港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)

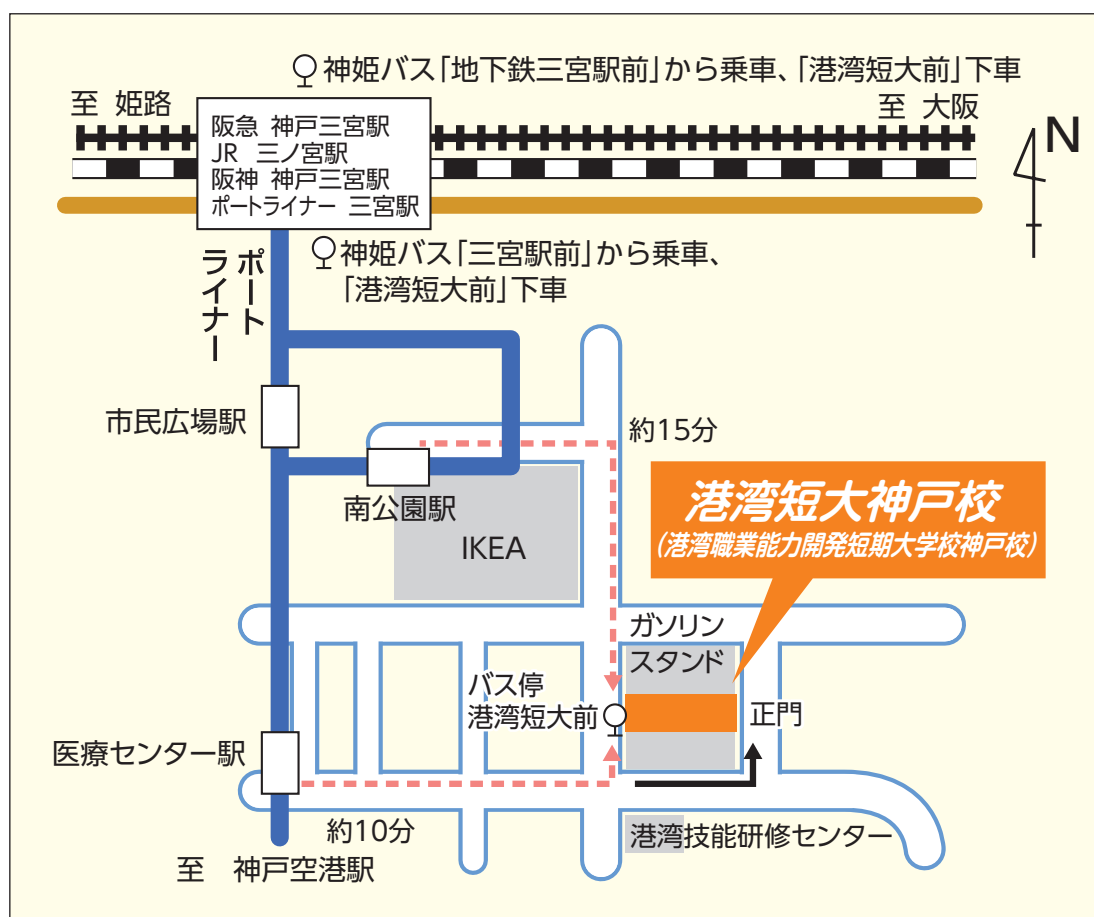
〒650-0045

兵庫県神戸市中央区港島 8-11-4

TEL : 078-303-7326 (学務課) FAX : 078-303-7335

メール : kobe-college03@jeed.go.jp

ホームページ : <http://www3.jeed.go.jp/hyogo/college/>



### ■公共交通機関でお越しの方

#### ○ポートライナー(神戸新交通)

- ・「神戸空港」駅行き乗車、「医療センター」駅下車徒歩約10分
- ・「北埠頭」駅行き乗車、「南公園」駅下車徒歩約15分

#### ○神姫バス

- ・「三宮駅前」…神戸阪急(旧そごう神戸店)の北側、(ポートアイランド方面のバス) Y 5 番乗り場から乗車、「MOL 行」または「KIO 行」～「港湾短大前」下車すぐ
- ・「地下鉄三宮駅前」…JR 三ノ宮駅中央口の北側、(神戸空港方面のバス) N 4 番乗り場から乗車、「港湾短大前」下車すぐ

注) バスをご利用する場合はご乗車前に「港湾短大前」バス停を停車するかのご確認をしてください。

### ■お車でお越しの方

- ・地図黒色線に従って、次の曲がり角で左折する。  
※約100m で当校正門となります(駐車場あり)

## C431コースの会場

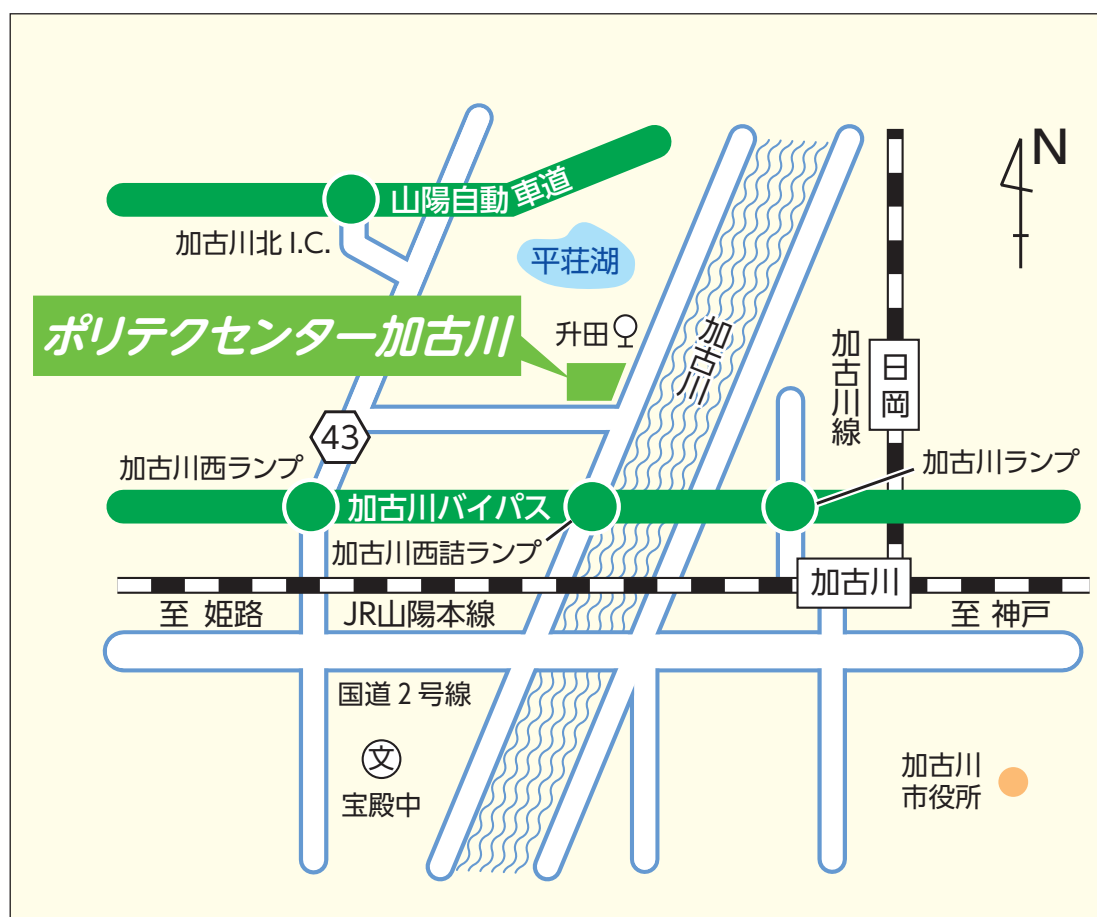
# ポリテクセンター加古川

(兵庫職業能力開発促進センター 加古川訓練センター)

〒675-0051

兵庫県加古川市東神吉町升田 1688-1

TEL：079-434-2014 (セミナー担当)



### ■公共交通機関でお越しの方

- ・ JR 加古川駅下車、神姫バス乗車口南5番乗り場へ。

南5番乗車「都台」行きのバスに乗車、約15分程度「升田」停留所で下車

(参考)バス時刻

加古川駅発 【平日】 7:50、8:25 【土・日・祝】 8:40

升田発 【平日】 16:06、17:36 【土・日・祝】 17:37 (2020年11月現在)

※バスの時刻は、各自で必ずご確認ください。

### ■お車でお越しの方

- ・ 姫路方面からお越しの方

加古川バイパス「加古川西ランプ」を下りて約10分

- ・ 神戸方面からお越しの方

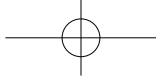
加古川バイパス「加古川西詰ランプ」を下りて約3分

「加古川西ランプ」を下りて約10分

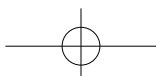
# コース一覧

分類	コース番号	コース名	頁	日数	実施時間	定員	受講料	4月
生産管理・物流管理コース	C111	生産現場における現場改善技法	6	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C112		6	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C121	在庫管理システムの管理精度維持と進め方	6	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C131	倉庫業務の設計と管理システムの構築	7	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C141	ロジスティクス・システムの設計と演習	7	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C151	生産性向上を目指した生産管理手法	8	2日間	9:30～16:30	10名	11,500円	
	C161	国際コンテナ輸送の実務と効率化	8	2日間	9:30～16:30	10名	9,000円	
	C171	実践貿易実務	9	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円	
	C172		9	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円	
	C181	ガントリークレーン技術と災害防止対策	9	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円	
電気電子・回路設計コース	C311	製造現場におけるLAN活用技術(サーバ編)	10	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円	
	C321	組込みLinuxデバイスドライバ開発技術	10	3日間	9:30～16:30	10名	12,500円	
	<b>NEW</b> C331	有接点シーケンス制御の実践技術	11	2日間	9:30～16:30	10名	13,000円	
機械設計・機械加工・機械保全コース	C411	機械設計のための総合力学	11	3日間	9:30～16:30	10名	14,500円	
	C412		11	3日間	9:30～16:30	10名	14,500円	
	C421	治具設計の勘どころ	12	2日間	9:30～16:30	10名	12,500円	
	C422		12	2日間	9:30～16:30	10名	12,500円	
	C431	NC旋盤プログラミング技術	12	4日間	9:30～16:30	10名	18,500円	
	C441	精密測定技術(長さ測定編)	13	2日間	9:30～16:30	10名	9,500円	
	C451	生産現場の機械保全技術(潤滑と機械要素)	13	2日間	9:30～16:30	10名	9,000円	

※新型コロナウイルス感染症予防のため定員の変更が生じることがございますのでご了承ください。



実 施 日										
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5(月), 6(火)								
							6(月), 7(火)			
25(火), 26(水)										
	22(火), 23(水)									
		20(火), 21(水)								
				6(月), 7(火)						
							21(火), 22(水)			
				29(水), 30(木)						
										16(水), 17(木)
			5(木), 6(金)							
			4(水), 5(木)							
			18(水)~20(金)							
							15(水), 16(木)			
11(火)~13(木)										
					4(月)~6(水)					
	7(月), 8(火)									
						8(月), 9(火)				
				27(月)~30(木)						
										22(火), 23(水)
										9(水), 10(木)



## 生産管理・物流管理コース

コース番号	コース番号	生産現場における現場改善技法
C111	C112	
実施日	実施日	
2021/7/5, 6	2021/12/6, 7	

### ◆訓練の目標

工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場に発生する問題点の分析や改善のための手法及び生産効率を向上させるため現場改善（作業改善）の技法を習得します。

### ◆訓練内容

1. コース概要
2. 生産現場の作業改善
3. 生産現場の環境改善
4. 生産現場の工程改善
5. 作業分析手法と改善効果測定
6. 実践的課題実習
7. まとめ



受講料：11,500円 定員：10

持参品：筆記用具、関数電卓（四則電卓でも可）

使用機器・使用ソフト：—

## 生産管理・物流管理コース

コース番号	在庫管理システムの管理精度維持と進め方
C121	
実施日	
2021/5/25, 26	

### ◆訓練の目標

在庫管理の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた在庫管理システムの構築を通して、正しい在庫管理業務の意義と役割を認識し、在庫管理システムを機能させるために在庫管理精度を維持する方法や生産管理システムの計画情報との連動方法について習得します。

### ◆訓練内容

1. 企業における在庫政策
  - ・企業の業態に伴う在庫政策の違いほか
2. 在庫管理業務と管理システム
  - ・在庫管理の各業務と管理システム機能ほか
3. 在庫管理システム事例
4. 在庫管理システム運営手法（グループ学習）

※前年度コース名「在庫システムの管理精度維持と進め方」

受講料：11,500円 定員：10

持参品：筆記用具、自社在庫管理事例または管理システム事例

使用機器・使用ソフト：パソコン、表計算ソフト

## 生産管理・物流管理コース

コース番号	<b>倉庫業務の設計と管理システムの構築</b>
<b>C131</b>	
実施日	
2021/6/22, 23	
<b>◆訓練の目標</b>	
原価管理 / 在庫管理による生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた、受注頻度、受注量、配送リードタイムの短縮化が可能な倉庫内業務のあり方の検討を通して、倉庫業務における業務プロセス改善と低コスト化の管理システムを構築するための技能・技術を習得します。	
<b>◆訓練内容</b>	
1. 倉庫の存在目的、倉庫の種類	
2. 一般的な倉庫業務のプロセス	
3. 倉庫業務別に見た管理システム機能	
4. 各種システム機器とその発展	
5. 倉庫レイアウト設計と管理システムを考える（グループ学習）	
受講料：11,500円 定員：10	
持参品：筆記用具、自社倉庫レイアウト図	
使用機器・使用ソフト：パソコン、表計算ソフト	

## 生産管理・物流管理コース

コース番号	<b>ロジスティクス・システムの設計と演習</b>
<b>C141</b>	
実施日	
2021/7/20, 21	
<b>◆訓練の目標</b>	
原価管理 / 在庫管理における生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたロジスティクス・システムに係るプロセスやコスト管理実習を通して、コスト・マネジメントの見地からロジスティクスを理解し、調達から生産、物流にいたるプロセスのロジスティクス・コストの最小化が実現できる手法を習得します。	
<b>◆訓練内容</b>	
1. ロジスティクス・システム ・経営戦略、企業課題、ロジスティクスほか	
2. ワークデザイン ・リードタイム、在庫政策、ロジスティクス・コスト	
3. ロジスティクス・プロセスの設計 ・業務フロー図、ものと情報の流れ図ほか	
4. ロジスティクス・システムの設計と演習（グループ学習）	
受講料：11,500円 定員：10	
持参品：筆記用具、自社業務フロー図	
使用機器・使用ソフト：パソコン、表計算ソフト	

## 生産管理・物流管理コース

コース番号

C151

実施日

2021/9/6,7

### 生産性向上を目指した生産管理手法

#### ◆訓練の目標

生産計画／生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場管理上の課題演習を通して、生産計画、生産体制、安全管理などの生産管理手法を習得します。

#### ◆訓練内容

1. コース概要
2. 製造業における生産管理手法
  - ①生産管理の要点
  - ②各業務別管理の要点
  - ③生産管理の新しい手法と方向性
3. 生産管理手法による課題実習
  - ①現場における生産管理上の問題点洗い出し
  - ②生産ラインにおける改善計画の考察
  - ③発表・討議
4. まとめ



受講料：11,500円 定員：10

持参品：筆記用具、関数電卓（四則電卓でも可）、自社現場の生産管理上の課題を整理したもの（A4×1枚）

使用機器・使用ソフト：—

## 生産管理・物流管理コース

コース番号

C161

実施日

2021/12/21,22

### 国際コンテナ輸送の実務と効率化

#### ◆訓練の目標

国際輸送の生産性の向上をめざして効率化・安全性向上に向けた海上コンテナの物流行程におけるトラブル対処演習を通して、国際ルールに沿った諸手続き及びコンテナ輸送を理解し、バンニングプランの立案・管理、貨物輸送のセキュリティなどの管理手法の技術・技能を習得します。

#### ◆訓練内容

1. コンテナリゼーションの概要
  - ・コンテナの規格と種類ほか
2. 特殊貨物のコンテナ輸送
  - ・危険物のコンテナ輸送ほか
3. コンテナ輸送と国際的ルール
  - ・国際コンテナ輸送に係る国際条約ほか
4. コンテナ輸送と税関手続き
  - ・国際コンテナ輸送に係る国際通関条約ほか
5. コンテナの船積み
  - ・バンニング/デバンニングほか
6. コンテナのセキュリティ
  - ・24時間ルールほか
7. まとめと質疑応答

受講料：9,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン



## 生産管理・物流管理コース

コース番号	コース番号	<b>実践貿易実務</b>
<b>C171</b>	<b>C172</b>	
実施日	実施日	
2021/9/29, 30	2022/3/16, 17	

### ◆訓練の目標

海貨業や国際物流業、輸出入を行う製造業において、貿易業務に携わって年数の浅い方を対象に、海上輸送を主とした貿易の流れや貿易取引固有の業務について、基盤となる知識を習得します。

### ◆訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 売買契約と代金決済
3. 貨物海上保険、貿易保険
4. インコタームズ
5. 貿易書類
6. まとめ



受講料：7,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—

## 生産管理・物流管理コース

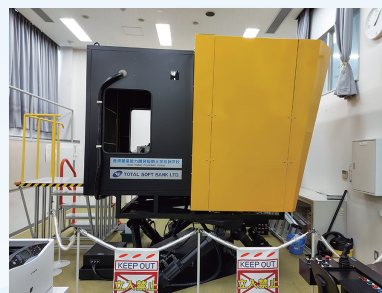
コース番号	<b>ガントリークレーン技術と災害防止対策</b>
<b>C181</b>	
実施日	
2021/8/5, 6	

### ◆訓練の目標

港湾荷役の現場力の強化及び安全衛生のノウハウの継承をめざし、ガントリークレーンシミュレータ操作を通して海上コンテナ荷役技術、問題解決や災害防止のための技術・技能を習得します。

### ◆訓練内容

1. ガントリークレーンの取扱い
  - ・構造・動作、取扱い方法ほか
2. ガントリークレーンの安全衛生
  - ・災害事例、災害防止対策の概要、災害防止対策の事例ほか
3. ガントリークレーン操作技術
  - ・準備操作、平時の荷役操作、悪天候での荷役操作、夜間・濃霧時の荷役操作、複合的な状況ほか、技能判定



受講料：7,500円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ガントリークレーンシミュレータ

## 電気電子・回路設計コース

コース番号

C311

実施日

2021/8/4, 5

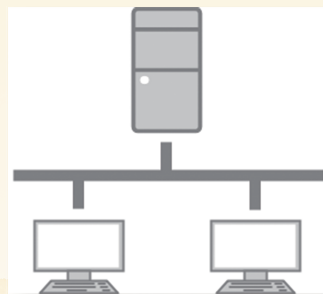
### 製造現場における LAN 活用技術（サーバ編）

#### ◆訓練の目標

製造業等の中小企業において LAN を活用し、作業の効率化・生産性の向上をめざして、LAN に関する知識と LAN 構築に関する技術を習得します。

#### ◆訓練内容

1. ネットワーク概要
  - ・ネットワークの概要とプロトコル、ネットワークの種類と構成ほか
2. プロトコルの概要と設定
  - ・Ethernet プロトコル、TCP/IP プロトコルほか
3. ネットワーク機器の役割
  - ・ハブ、ルータ、スイッチ
4. サーバ OS の初期設定
5. LAN 構築実習
  - ・情報の一元管理、共有、転送



受講料：7,000 円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、VirtualBox、Windows Server

## 電気電子・回路設計コース

コース番号

C321

実施日

2021/8/18, 19, 20

### 組込み Linux デバイスドライバ開発技術

#### ◆訓練の目標

組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたターゲットボードへの Linux 実装やアプリケーション開発実習を通して、組込み Linux の概要、メリット・デメリット、開発環境の構築や実装手法、各種機能等、組込みマイコンシステムについて習得します。

#### ◆訓練内容

1. 組込みシステム概要
  - ・組込み機器とは
  - ・組込み Linux の特徴ほか
2. 開発環境構築
  - ・クロスコンパイル開発環境
  - ・ホスト PC 及びターゲットボードほか
3. 開発ツール紹介とインストール、オリジナルドライバ作成
4. アプリケーション開発



※本コースのメ切は 7/14（水）となります。

※前年度コース名「組込み OS 実装技術（LinuxOS）」

受講料：12,500 円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：組込みターゲットボード (RaspberryPi3)、開発用ホストコンピュータ（パソコン）、開発ツール

## 電気電子・回路設計コース

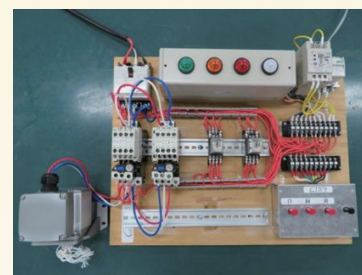
コース番号	 <b>有接点シーケンス制御の実践技術</b>
<b>C 3 3 1</b>	
実施日	
2021/12/15, 16	

### ◆訓練の目標

シーケンス制御設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた有接点シーケンス製作実習を通して、有接点シーケンス制御製作の実務能力を習得します。

### ◆訓練内容

1. コース概要
  - ・ 低圧電気の危険性、短絡、過負荷、漏電事故対策
2. 各種制御機器の種類
  - ・ スイッチ、センサ等、電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、その他の制御機器
3. 主回路と制御回路
  - ・ 展開接続図の読み方、機器の配置と接続方法、各種制御回路
4. 課題実習
  - ・ 有接点シーケンス制御回路の製作作業



受講料：13,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：配線遮断器、漏電遮断器、電磁接触器、サーマルリレー、ミニチュアリレー、ランプ、電動機、検電器、テスタほか

## 機械設計・機械加工・機械保全コース

コース番号	コース番号	<b>機械設計のための総合力学</b>
<b>C 4 1 1</b>	<b>C 4 1 2</b>	
実施日	実施日	
2021/5/11, 12, 13	2021/10/4, 5, 6	

### ◆訓練の目標

機械設計／機械製図の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた機械の力学や材料の強度設計、また機械要素設計（ねじ・軸・軸受・歯車）など詳細設計に必要な力学の全般を習得します。

### ◆訓練内容

1. コース概要
2. 強度設計の重要性
3. 機械の力学
4. 材料の静的強度設計
5. 機械要素設計
6. 機械設計課題及びまとめ

※対象者は、機械設計製図関連業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者。  
初めて当該業務に就かれる方は、一度ご相談ください。



受講料：14,500円 定員：10

持参品：筆記用具、関数電卓（四則電卓でも可）、『JISに基づく機械設計製図便覧』（オーム社、ISBN978-4-274-21830-9）を事前購入してお持ちください。旧版のものでも構いません。

使用機器・使用ソフト：—

## 機械設計・機械加工・機械保全コース

コース番号	コース番号	治具設計の勘どころ
C421	C422	
実施日	実施日	
2021/6/7, 8	2021/11/8, 9	

### ◆訓練の目標

治具設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防保全、技能継承に向けた設計時の問題点（①ワークの位置決め箇所、②クランプ位置、③クランプ力、④治具の扱い及び作業性、⑤材料・精度・コストなど）の回避方法などを含め、組付け治具における設計手法とポイントを習得します。

### ◆訓練内容

1. コース概要
2. 治具概要
3. 治具設計のポイント
4. 治具構想実習
5. まとめ



受講料：12,500円 定員：10

持参品：筆記用具、関数電卓（四則電卓でも可）

使用機器・使用ソフト：—

## 機械設計・機械加工・機械保全コース

コース番号	NC旋盤プログラミング技術
C431	
実施日	
2021/9/27, 28, 29, 30	

### ◆訓練の目標

NC機械加工の生産性の向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などNC旋盤作業に関する技術を習得します。

### ◆訓練内容

1. 応用プログラム
  - ・サブプログラムの形・呼出指令、複合形固定サイクルほか
2. 複数工具の補正機能
  - ・大きな段差のある直径寸法の調整、溝幅の調整、テーパ角度の調整ほか
3. 特殊機能
  - ・テーパ角度指定、面取り・R面取り自動加工機能ほか
4. プログラミング課題実習
  - ・グループによる取組、加工工程について討議、疑問点、問題点の抽出ほか

※ポリテクセンター加古川で実施します。  
お申し込みは港湾短大神戸校まで

受講料：18,500円 定員：10

持参品：筆記用具、作業服、安全靴

使用機器・使用ソフト：NC旋盤、データ入力装置、各種切削工具、各種測定機器

## 機械設計・機械加工・機械保全コース

コース番号

C441

実施日

2022/3/22, 23

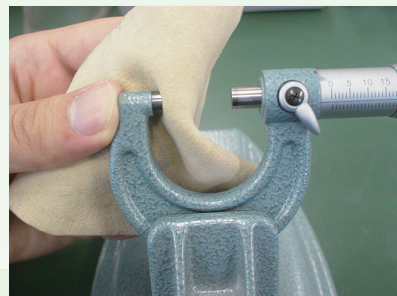
### 精密測定技術（長さ測定編）

#### ◆訓練の目標

機械・精密測定／機械検査の生産性向上をめざして、長さ寸法測定の適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

#### ◆訓練内容

1. 測定の重要性
  - ・検査と評価、トレーサビリティ、測定における不確かさ、誤差の原因と対策、測定環境ほか
2. 測定実習
  - ・測定器の精度と特性、器差、アッベの原理、スケール、ノギス、マイクロメータほか
3. 定期検査・校正
  - ・校正方法と検査用工具ほか



受講料：9,500円 定員：10

持参品：筆記用具、作業服、安全靴

使用機器・使用ソフト：ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージほか

## 機械設計・機械加工・機械保全コース

コース番号

C451

実施日

2022/3/9, 10

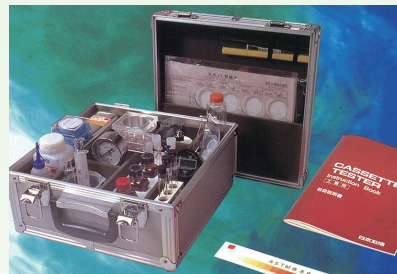
### 生産現場の機械保全技術（潤滑と機械要素）

#### ◆訓練の目標

機械保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応、予防に向けた潤滑剤の性状と油空圧機器・機械要素の保全を通して、機械を構成する部品の損傷及びトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

#### ◆訓練内容

1. 機械保全の概要
2. 潤滑剤の性状
3. 潤滑剤と油・空圧機器
4. 油・空圧機器、各種機械要素の損傷と対策



受講料：9,000円 定員：10

持参品：筆記用具、作業服

使用機器・使用ソフト：—

## ご利用者の声

コース名	ご利用者の感想
実践貿易実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 輸出入の物や書類の流れをよく理解することができました。(受講者様)</li> <li>◆ 日頃の業務で分からなかった所がほとんど解決できました。入社後受講した研修とかセミナーの中で一番有意義な研修でした。(受講者様)</li> <li>◆ 独学での知識で貿易実務を行っていましたが、研修を受講することで専門知識を更に得ることができ、今後のリスク回避等に役立てられます。(事業主様)</li> </ul>
ロジスティクス・システムの設計と演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 物流関係のプロジェクトに参加していますが、目をつけるべきところが不明確でしたが、今回のセミナーを受講することで問題点と課題を改めて見直すことが必要だと分かりました。(受講者様)</li> <li>◆ モノと情報の流れ図で、しっかり整理したうえで改善の打ち手を考えていく手法はわかりやすく実践でも使えます。(企業の教育ご担当者様)</li> </ul>
製造現場における LAN 活用技術(サーバ編)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ IT 関連の知識(ネットワーク)を体系的に学ぶことができ、今まで独学で調べた内容をしっかりと理解できました。(受講者様)</li> <li>◆ 社内研修の一環でセミナーを受講させておりましたが、従業員の知識習得や知識の均一化につながっています。(企業の教育ご担当者様)</li> </ul>
精密測定技術(長さ測定編)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 社内校正実施に向けて悩んでおりましたが、計測器の取扱いや校正の方法まで詳しく教えていただいて大変勉強になりました。今後、社内で校正を行う第一歩として学んだ技術を活用していきたいです。(受講者様)</li> </ul>
機械設計のための総合力学	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 業務で役立つ知識を知る事ができました。今後、新たに配属された方にはセミナーを受講するように伝えたいと思います。(受講者様)</li> <li>◆ 復習から始まり、聞いたことがないところもありましたが、大事なところをピックアップして、話をしてくださったので、とても分かりやすかったです。また、最後に製図の寸法記入について必要なことを教えてくださったので、とてもためになりました。(受講者様)</li> <li>◆ 今まであまり考えずに書いていた図面の書き方を改めて理解できました。設計する上で考えなければならない計算(力学)を再確認し、今後活かせると感じました。(受講者様)</li> </ul>
組込み OS 実装技術(LinuxOS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 業務でも Linux は使っていましたが、OS 間でファイルを共有する仕組みやハードウェアの組立ては初めてでいずれ必要となる技術が得られました。(受講者様)</li> </ul>



# オーダーメイドコースのご案内

～貴社のニーズに合わせた従業員の育成にご活用ください!!～

港湾短大神戸校では貴社のニーズ(内容・日程・時間・場所等)に合わせたオーダーメイドコースを実施しています。また、本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)

## ■オーダーメイドコースのメリット

- ◎ご希望の日程を相談の上、コースの設定ができます。
- ◎事業主・事業主団体の皆様のニーズに対応した、効果的な人材育成が可能となります。
- ◎講師、機器、研修会場等の心配が要りません。



## ■オーダーメイドコース計画のポイント

- ◎会場は原則当校となりますが、別会場での実施を希望される場合はご相談ください。
  - ◎定員は原則10名となりますが、**10名未満**の場合でも、**まずご相談ください**。
  - ◎1コースの訓練時間は**12時間以上**です。(実施日、時間帯等の調整は可能です。)
  - ◎受講料は、諸経費を含めてお一人様単位でご提示します。  
(受講料は、本冊子に掲載している料金を参考にしてください。なお、振込手数料は、別途ご負担ください。)
- ※内容・日程等により、実施できない場合もございますのでご了承ください。

## ■ご相談から実施までの流れ

- 1) お電話等いただければ、当校職員が貴社のニーズをお伺いしたうえで、オーダーメイドコースのカリキュラムを提案させていただきます。
- 2) 内容、実施日程、人数等が決まれば、経費(見積り)をご提案します。
- 3) お客様のご理解がいただければ、実施となります。

公開中の在職者訓練では  
日程が合わない

自社の実情や目的に合った  
研修を実施したい

自社では講師や機器・場所  
が不足している

ご利用にあたり、**お気軽にお問い合わせください**。

## ■オーダーメイドコースが可能なコース

分類	コース名	内容
保全・管理	電気系保全実践技術 (機械技術者のための電気保全と計測技術)	生産システム保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けたFAラインを想定した総合実習を通して、制御機器の保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び安全管理技術を習得します。
教育・安全	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	港湾荷役における安全管理の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生メカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。
教育・安全	現場を動かすプレゼンテーションテクニック	生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、目的達成に向けた組織のベクトルを一致させることのできる能力を習得します。

- ・上記以外に本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。  
(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)
- ・お一人様の受講料(税込)は、教材及び当校が定める諸経費を含めてご提示します。

# 施設・設備ご利用の貸出について

事業主や事業主団体の皆様が職業能力開発や人材育成を目的とした従業員教育や研修を実施される場合、教室などの施設及び実習場の設備・機器などが有料にてご利用いただけます。(当校が使用していない場合に、あらかじめ決められた教室や実習場等のみご利用いただけます。)

## ■ご利用いただける施設・設備

施設・設備名称	使用料(1時間あたり)			備 考
	7～9月	12～3月	それ以外の期間	
大教室	350円/1H	350円/1H	100円/1H	収容人員 60名(視聴覚機器有)
会議室	200円/1H	200円/1H	50円/1H	収容人員 24名
クレーン実習場	250円/1H			
天井クレーン	650円/1H			クラブトロリー式 (運転室能力: 定格荷重 5t、スパン 14m)
ホイールローダ	1400円/1H			小松製、TCM製
視聴覚機器(OHP, VTR等)	50円/1H			
自動車等運転実習場	7,000円/1H			個人への貸出しは、行っておりません。

※料金は、2020年7月1日現在の金額です。使用料は変更になる場合もありますのでご了承ください。



大教室



クレーン実習場

## ■お申込み方法

1. ご利用を希望される場合は、事前に予約状況等についてお電話にてご確認ください。
2. 所定の様式(施設設備使用申請書)に必要事項をご記入の上、お申込みください。『施設設備使用申請書』は当校のホームページからダウンロードできます。(港湾短大神戸校 HP→事業主・企業の方へ→施設設備の貸出)
3. お申込み後、内容等を確認の上、文書(「施設設備使用承諾通知書」、「請求書」等)をお送りします。使用料はご使用日の一週間前までに当校指定の銀行口座にお振込みください。

## ■ご利用時間

平日 9:00～17:00

土日祝日 8:00～18:00

(土日祝日のご利用には、警備員の配置が必要となるため別途料金が必要となります。)

## ■キャンセル

お申込みを取り消される場合は速やかにご連絡ください。(使用1週間前までのキャンセルについては返金いたします。それ以後のキャンセルについてはご返金は致しかねます。)

## ■その他

ご使用の際の準備・後片付け・清掃等は会場責任者の方が責任を持って行ってください。

状況によっては以後のご使用をお断りする場合がありますのでご注意ください。

なお、当校に起因するものを除き、使用中の事故、トラブルについては一切責任を負いませんのでご注意ください。

(使用上の注意については「施設設備使用承諾通知書」に記載してあります。)

※新型コロナウイルス感染症予防のため感染症予防対策(収容人数の縮小、換気、消毒等)のご協力をお願いすることがございますのでご了承ください。



# 生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします！

当機構では、全国の公共職業能力開発施設(ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等)に「生産性向上人材育成支援センター」(生産性センター)を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートしています。

従来から実施してきた在職者訓練(能力開発セミナー)や職業訓練指導員(テクノインストラクター)の派遣、施設設備等の貸出に加え、平成29年度から生産性向上支援訓練を実施、また、令和2年度からミドルシニアコースを新たなメニューとして追加しました。

## 生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識等を習得する職業訓練です。生産性センターが、専門的知見を有する民間機関等に委託して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

### 生産性向上支援訓練のポイント

#### 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティングなど、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意(全86コース('20.10月現在))

#### 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！(※6人以上)

- ・自社会議室を訓練会場とすることが可能(企業に講師を派遣します)
- ・実施日時や訓練時間も調整可能(訓練時間は6～30時間で設定)
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



#### 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり3,300円～6,600円(税込)(※'20.12月現在)
- ・条件を満たす場合は国の助成金(人材開発支援助成金)を利用可能

#### 主な訓練分野・コース

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・コストの削減に取り組みたい。
- ・ITを活用して業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・個人のノウハウを社内で見える化したい。

- ・役割の変化への対応を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員に指導の手法を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員のOJTスキルを向上させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

#### 【生産・業務プロセスの改善】

- ・ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
- ・生産現場の問題解決 ・品質管理基本/実践
- ・ITツールを活用した業務改善 など

#### 【組織マネジメント】

- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上
- ・組織力強化のための管理
- ・成果を上げる業務改善 など

#### 【生涯キャリア形成】⇒ミドルシニアコース

- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

#### 【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・インターネットマーケティングの活用
- ・提案型営業手法/実践 など

# ミドルシニアコースのご案内

～70歳までの就業機会の確保に向けた従業員教育～

人手不足の深刻化や技術革新が進展する中、中小企業等が事業展開を図るためには、従業員を育成し、企業の労働生産性を高めていくことに加えて、70歳までの就業機会の確保に向けて企業を支えるミドルシニア世代の役割の変化へ対応できる能力や技能・ノウハウを継承する能力を育成することが重要です。

生産性センターでは、生産性向上支援訓練の新たなメニューとして、令和2年度から「ミドルシニアコース」を開始し、中高年齢層の従業員の“生涯キャリア形成”を支援しています。

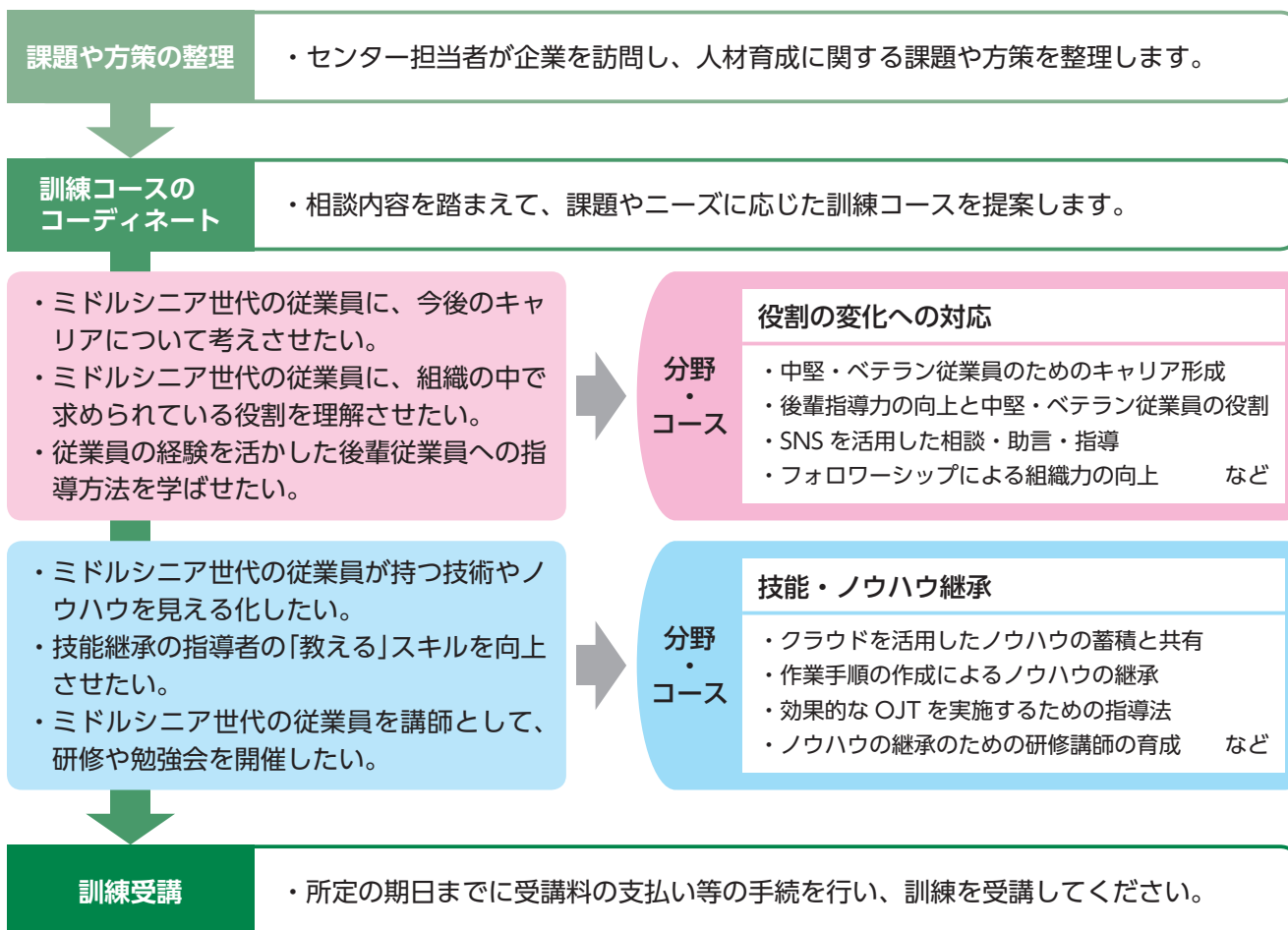
## ○コース概要

ミドルシニアコースでは、“従業員のモチベーションの維持”、“後輩への技能継承”など、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムをご用意しています。

○受講対象者  
主に**45歳以上**  
の従業員の方



## ○訓練受講までの流れ



※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

### 生産性向上支援訓練 のお問い合わせは

ポリテクセンター兵庫 生産性センター業務課 まで

TEL : 06-6431-8205

FAX : 06-6431-7285

E-mail : hyogo-seisan@jeed.go.jp